

STOP! コロナ差別 ～偏見をなくし、正しい知識を持ちましょう～

今、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症。感染拡大に伴い、感染者やその家族、医療従事者等に対する差別や誹謗中傷、いじめが大きな社会問題となっています。



2020年度人権啓発ポスター
～感染症患者等の人権～

ウイルスによる感染がいつ終息するのか見通せず、不安を感じたり、感染することに恐怖を抱いたりすることがあります。こうした不安や恐怖から、ウイルス感染関わる人や対象を差別し、遠ざけようとするのは、当事者を深く傷つけるだけでなく、正確な実態把握を困難にし、感染拡大防止の妨げにもなります。

インターネットなどには、たくさんの情報があふれていますが、それは本当に正しい情報でしょうか？一度立ち止まって考えてみましょう。憶測や噂を鵜呑みにせず、また、それらを安易に拡散しないよう注意してください。

不確かな情報に惑わされて、人権侵害につながることはないよう、一人ひとりが正確な知識・情報に基づいて、冷静に行動することが大切です。

このポスターを含む6種類の人権課題について考えていただくための冊子「人権ノート」をあいち人権啓発プラザで配布しています。学校や職場等における人権学習、研修の際にぜひ御活用ください。



新着図書のご紹介

●あいち人権啓発プラザの新着図書の一部をご紹介します。



『部落差別解消推進法を学ぶ』
奥田均 著
解放出版社



『はじめよう! SOGIハラのない学校・職場づくり』
「なくそうSOGIハラ」実行委員会 編
大月書店



『ちがうものをみている
～特別支援学級のこどもたち』
のえみ 著
石風社



『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』
大前 衆生 著
河出書房新社



『僕が手に入れた発達障害という止まり木』
柳家花緑 著
幻冬舎



『健康で文化的な最低限度の生活⑧⑨』
柏木 ハルコ 著
小学館

映像資料・図書リストについては、ホームページでもご覧いただけます。
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/jinken/0000085097.html>

